

# eMedia CS

操作マニュアル

## I カードをデザインする

- 1.eMediaCS を起動する-----1
- 2.カードデザイン作成-----2
- 3.データベースを接続する-----5
- 4.可変項目をデータベースとリンクさせる-----7

## II カードを発行する

- 1. プリンタの設定-----9
- 2. データベースにあるレコードを呼び出して発行---9
- 3. 新しいレコードを作成-----10
- 4. まとめ印刷（一括印刷） -----12

**evOLIS**  
OFFICIAL PARTNER

**Cr** **カーデックス株式会社**  
〒106-0044 東京都港区東麻布1丁目23番5号 PMビル(本社)  
TEL 03-3585-2729 FAX 03-3585-2720 [www.cardex.jp](http://www.cardex.jp)

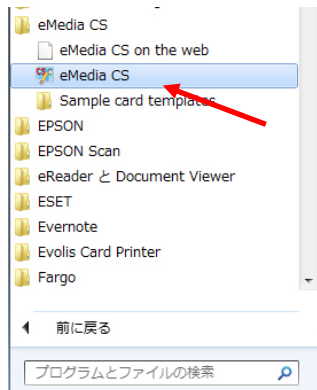
eMedia に関するお問い合わせはこちらまで：カーデックス（株）カスタマーサポート係  
TEL:088-686-8739 FAX:088-686-8740  
e-mail:cs@cardex.jp

# I カードをデザインする

## 1. eMedia CS を起動する

### 1-1 eMedia CS の起動

タスクバーの「スタート」ボタンを選択し、「すべてのプログラム」→「eMedia CS」→「eMedia CS」を選択する。

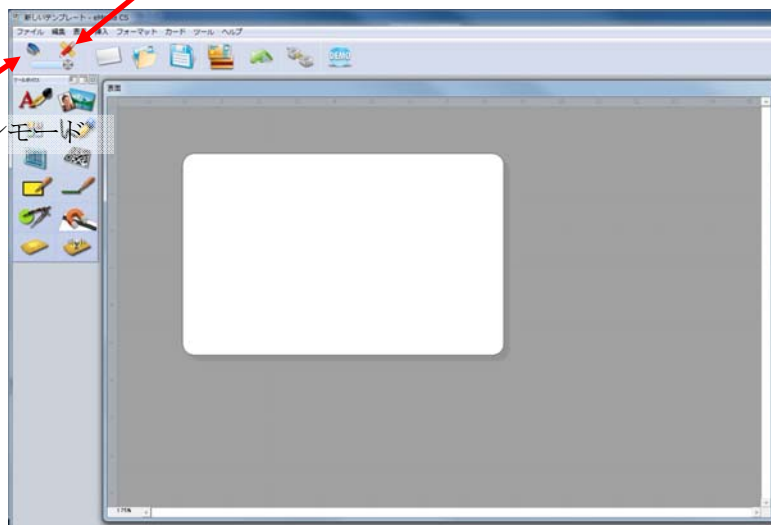


### 1-2 起動画面

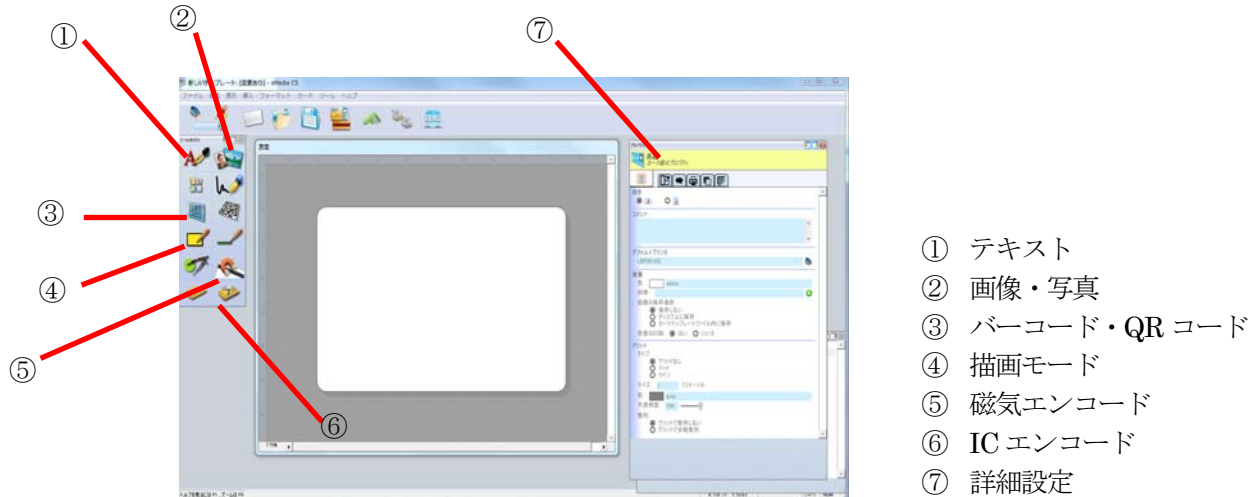
①デザインモードボタンを選択し、デザインモードにする。

① デザインモード

② オペレーションモード



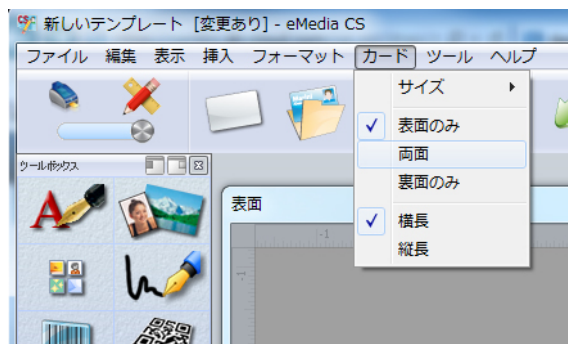
### 1-3 デザインモード画面



- ① テキスト
- ② 画像・写真
- ③ バーコード・QR コード
- ④ 描画モード
- ⑤ 磁気エンコード
- ⑥ ICエンコード
- ⑦ 詳細設定

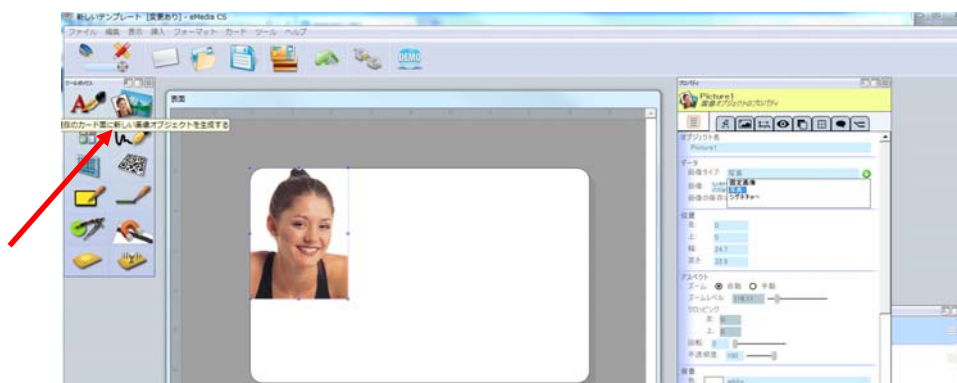
## 2.カードデザイン作成

### 2-1 カードの向きを決定する (片面・両面・縦・横)

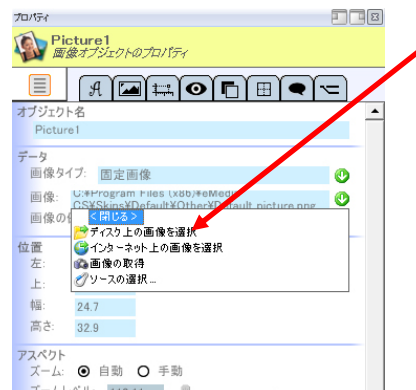
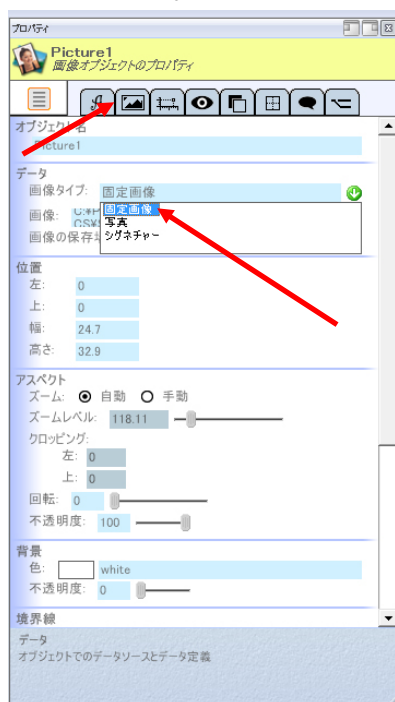


### 2-2 ログ等 (画像) を入れる

① 「画像」 ボタンをクリックすると、カード画面に画像 (ダミー) が表示される



② 「詳細設定」の画像タイプ「↓」を選択し「固定画像」を選択→画像「↓」を選択→「ディスク上の画像を選択」をクリックする。

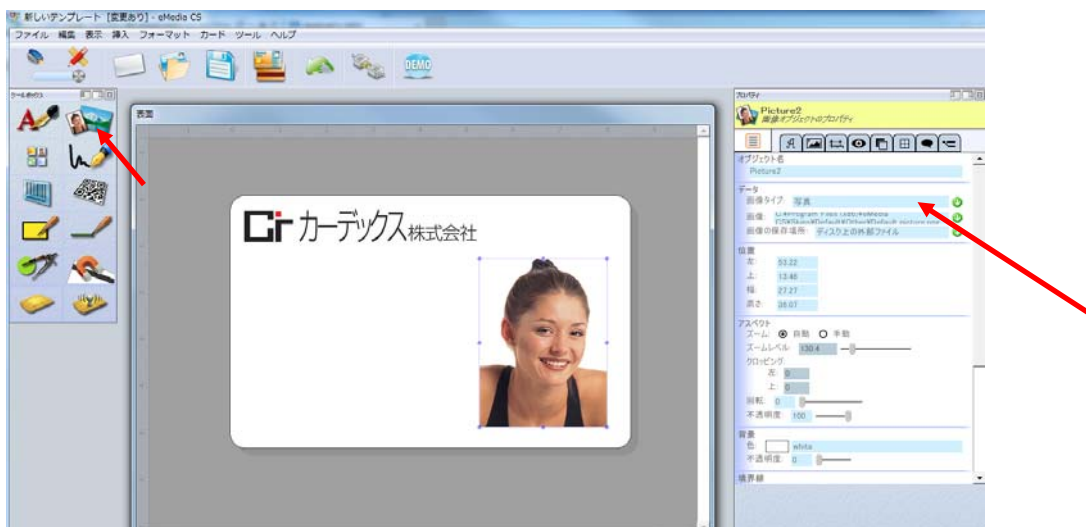


③画像が配置されます。



## 2-3 顔写真を入れる

① 画像オブジェクトボタンをクリックし詳細設定の画像タイプ→「写真」を選択する。



②画像とデータベースのリンクは4章の「可変項目をデータベースとリンクさせる」で接続する。

## 2-4 テキストを入れる

- ①テキストボタンをクリックし、詳細設定の「このオブジェクトのデータ」にテキストを入力する



- ① 同様の手順で、固定項目（氏名・所属・社員番号・会社住所等）・可変項目（図□部分）を入力する  
 ※ 可変部分は3章でデータベースと接続するまでは固定の状態です

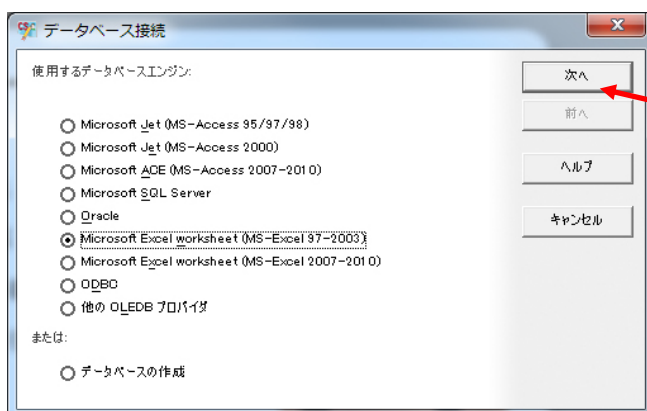


### 3. データベースを接続する (例: Standard 版は Excel Worksheet との連携となります。)

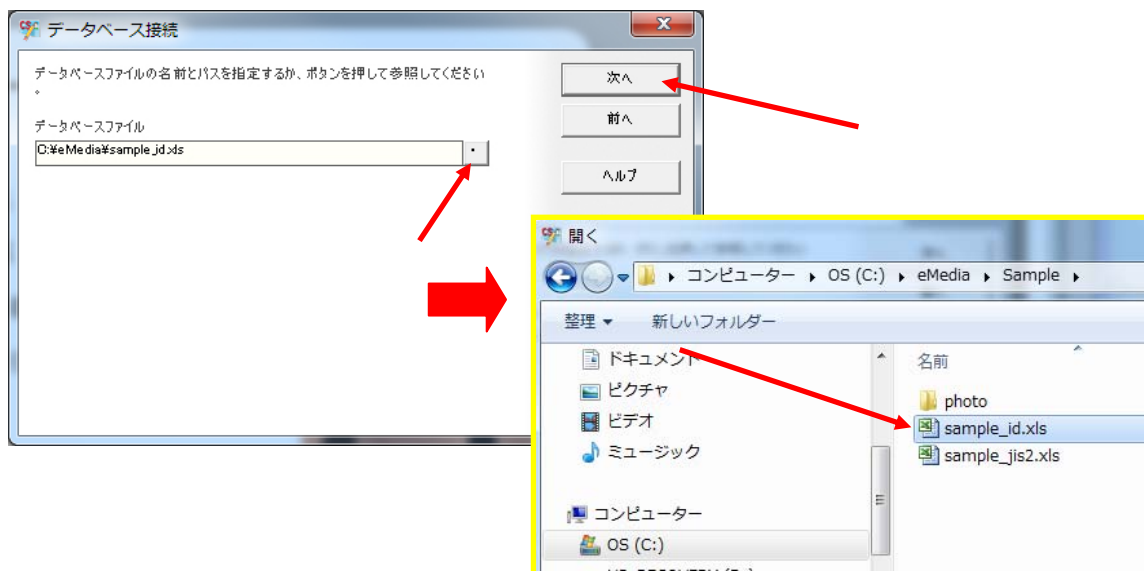
※Ms-Access との連携は eMedia CS Expert Version 版のみになります

3-1. 「ツール」 → 「データベースに接続」を選択する。

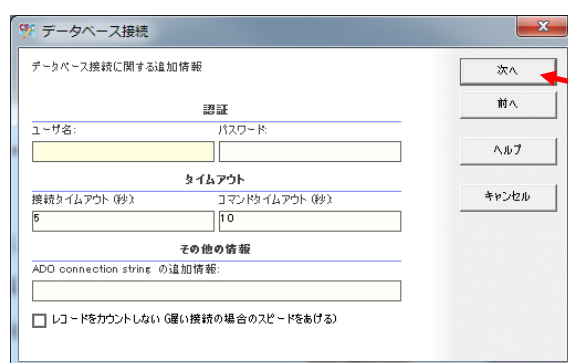
3-2 Excel のバージョンに従い (ここでは Excel97-2003 を選択) チェックを入れ「次へ」を選択。



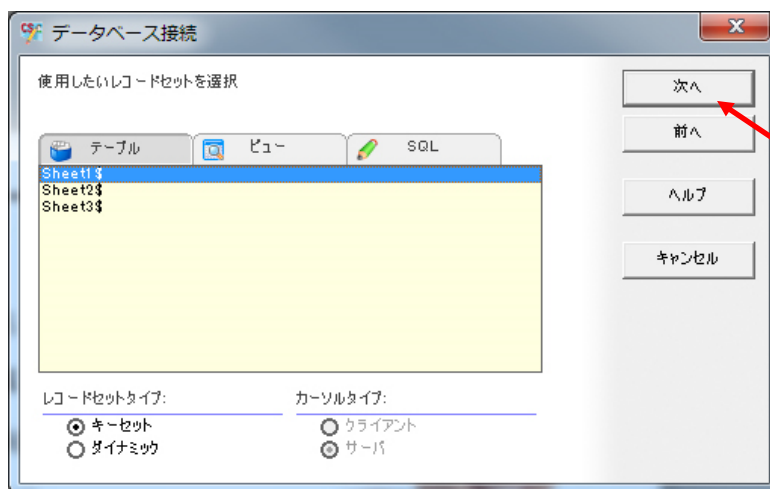
3-3. 矢印のボタンをクリックし、目的のデータベースファイルを選択し、「次へ」を選択する。



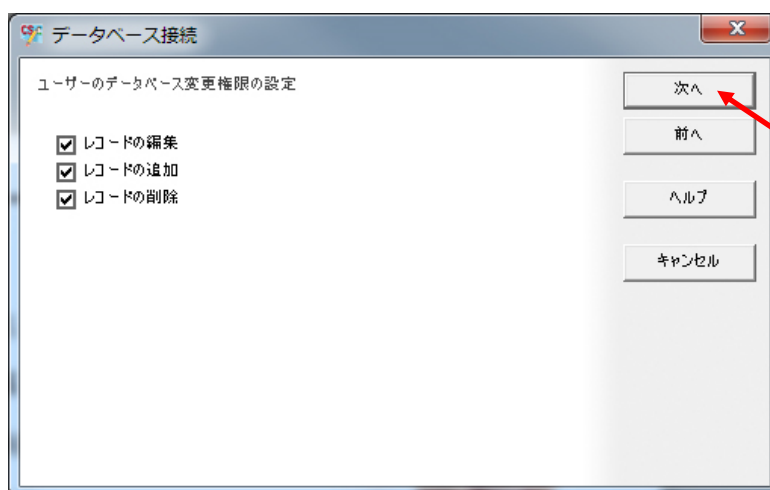
3-4. 「データベース接続に関する追加情報」そのまま「次へ」を選択。



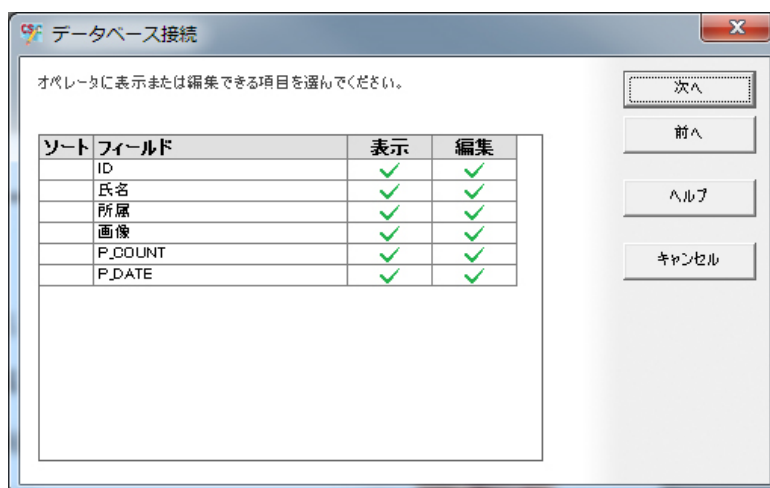
## 3-5. 使用したいレコードセットを選択でデータベースのある sheet を選択して「次へ」



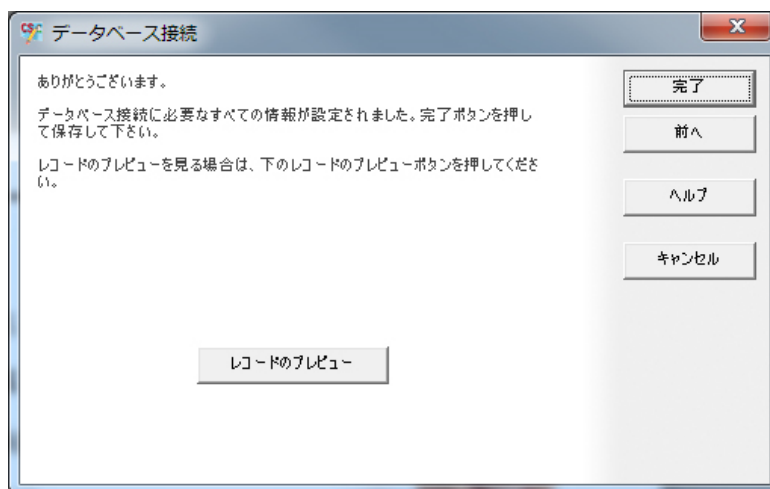
## 3-6. ユーザーのデータベース変更権限の設定 必要な部分にチェックを入れて「次へ」



## 3-7. オペレーターに表示又は編集できる項目にチェックを入れて「次へ」

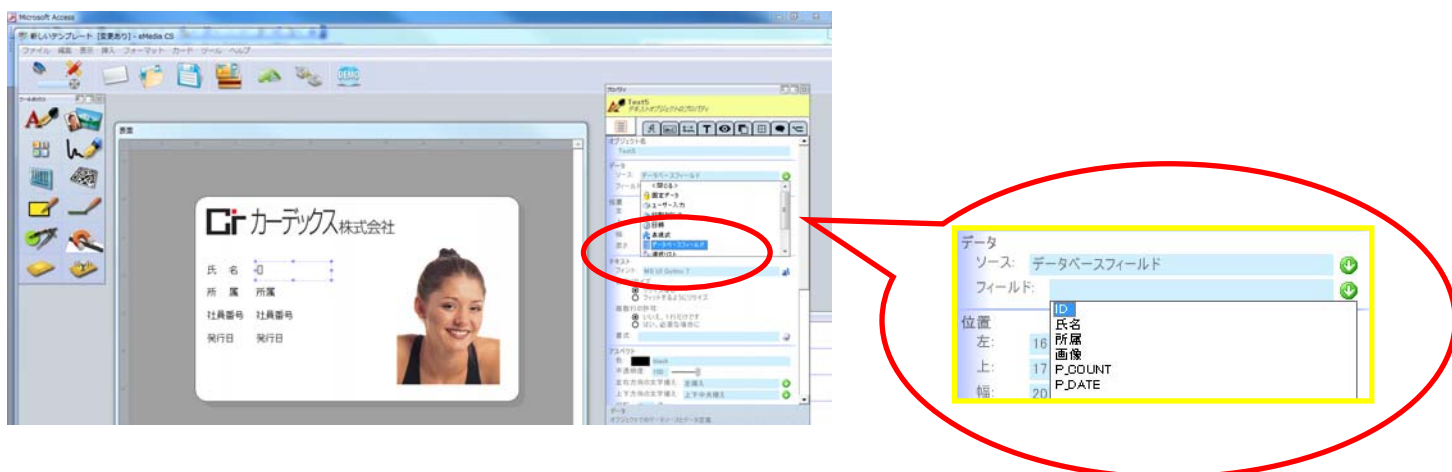


3-8. 「完了」を選択してデータベース接続は完了します。



#### 4. 可変項目をデータベースとリンクさせる

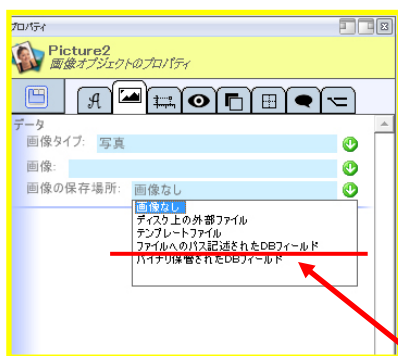
4-1. 可変項目を選択し、詳細設定「ソース」の「データベースフィールド」を選択し「フィールド」をリンクしたいデータベースフィールドに設定する。





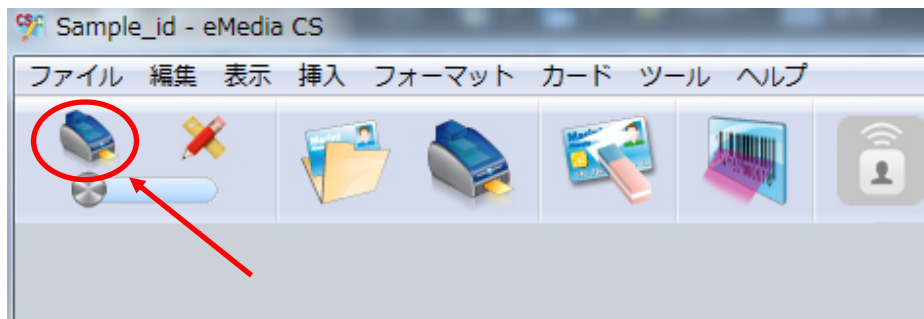
## 4-2 画像枠をデータベースにリンクさせる。

画像タイプ→「写真」・画像の保存場所→「ファイルへのパス記述されたDBフィールド」を選択し、DBフィールド→画像へのフルパスが記載されているフィールド（ここでは「画像」）を選択する。



## 4-3 デザインが完成したらオペレーティングモードに移動する。

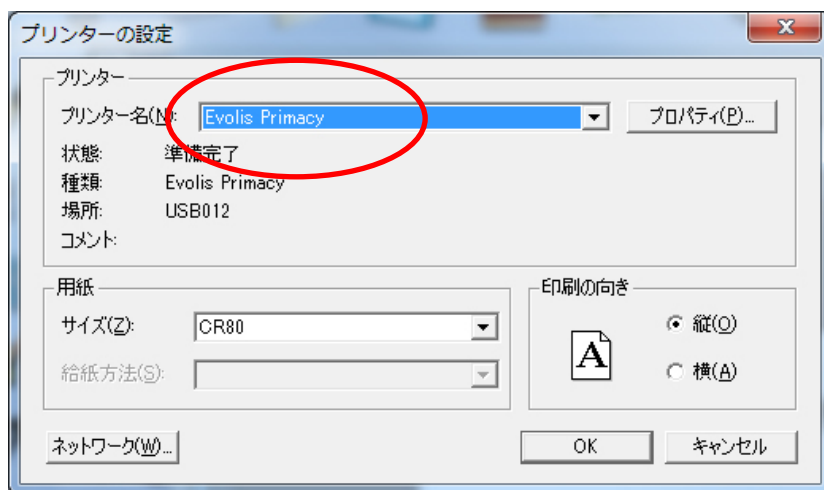
オペレーティングモードに切り替えます（下記○ボタンをクリックするとモード切替ができます）



## II カードを発行する

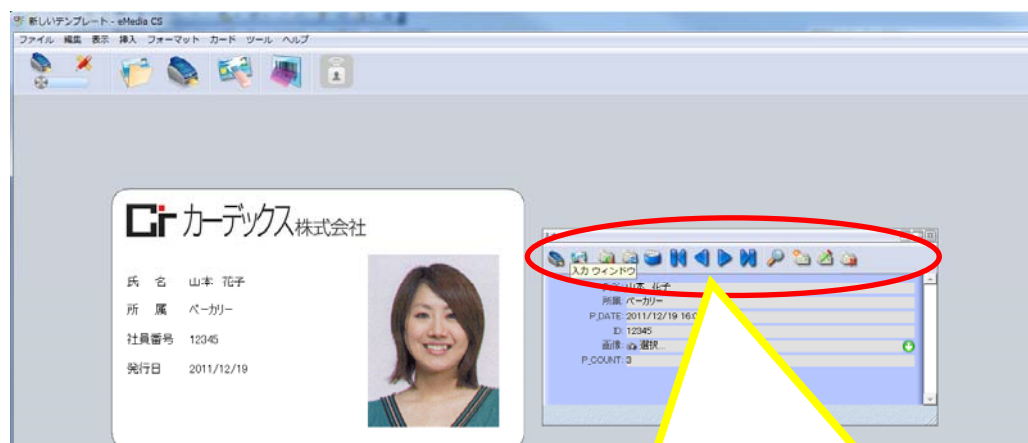
### 1 プリンタの設定

「ファイル」→「プリンタ設定」でプリンタの設定をする。



### 2 データベースにあるレコードを呼び出して発行する

#### 2-1 目的のレコードを呼び出し「印刷」ボタンをクリックする

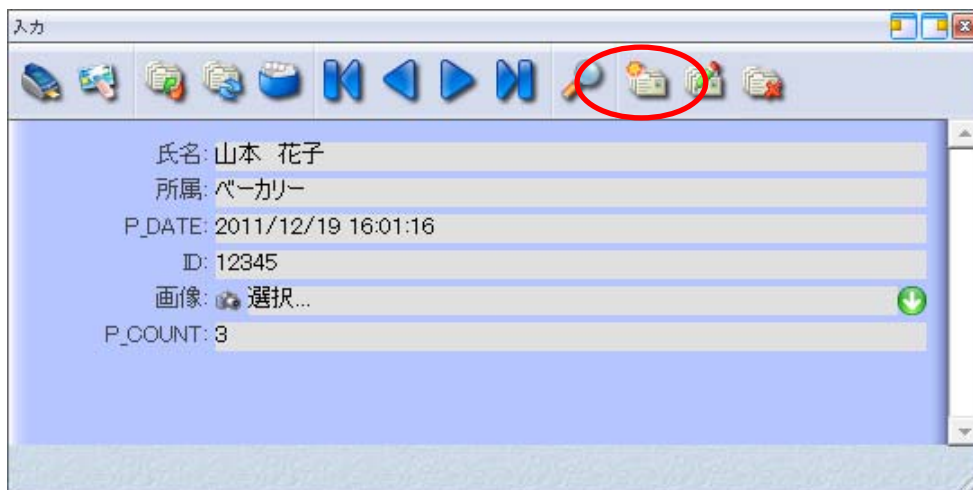


印刷ボタン

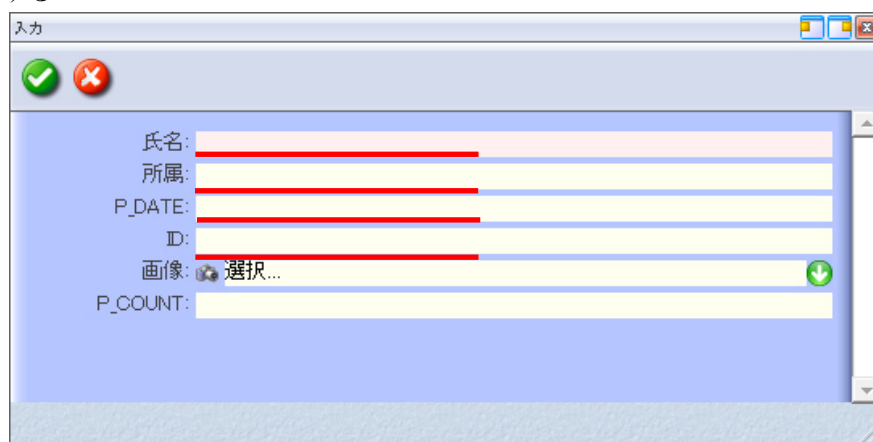


### 3 新しいレコードを作成して発行する

#### 3-1 「新しいレコードを作成する」 ボタンをクリックする



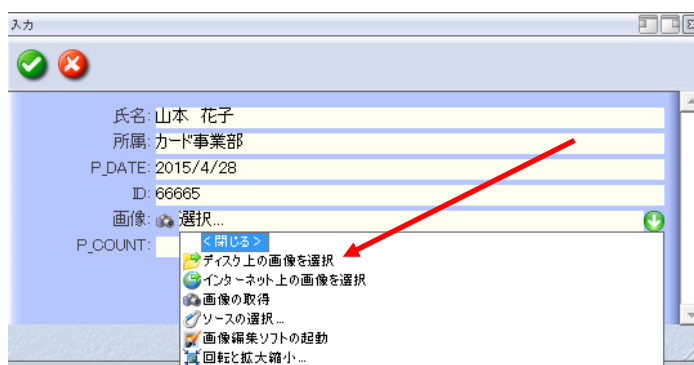
#### 3-2 可変項目を入力する



※次項目への移動は「Tab」キーで。全項目に戻るときは「Shift」＋「Tab」。

#### 3-3 写真を呼び出す

項目「画像」の「↓」をクリックし「ディスク上の画像を選択」を選択。



3-4 目的の写真を選択して「開く」を選択

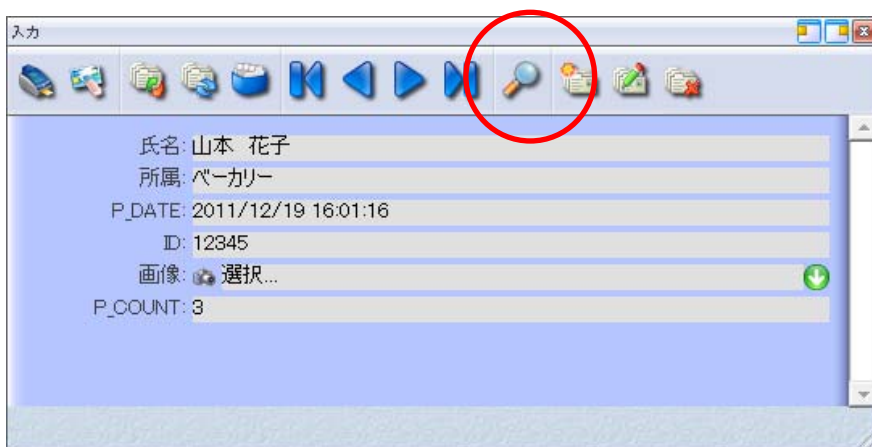


3-5 「チェック」ボタンをクリックして確定



## 4 まとめ印刷

### 4-1 レコード検索ボタンをクリックする



### 4-2 【データの一部をまとめ印刷】

データベースの1行から5行をまとめて印刷する場合。

データベース検索の「レコード」を選択し「最初のレコード」に「1」を「最後のレコード」に「5」を入力しプリンタボタン（条件に合う全てのレコードを印刷する）を選択する。

